

2019（平成31）年3月10日（日曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議（第10期・第15回）の議事録は次のとおり。

- ・柳晴実副委員長及びサリアビシエック副委員長が進行を行った。今回は部会に分かれず、全体で提言内容の修正・追加の確認と、最終報告書の構成、提言の内容などについて、議論した。

1 全体協議

(1) 提言の内容について

【主な協議内容】

- ・報告書の冒頭「外国籍県民かながわ会議の最終報告について」の中に、各部会の提言の背景・経緯のポイントをまとめたものを記載することとした。
- ・第10期委員として作成した「外国籍県民かながわ会議を振り返って」については、今後の会議のあり方についても含まれているので、タイトルを「外国籍県民かながわ会議の今後によせて」に変更することとした。
- ・県内の外国人数や推移などの統計資料については、2019年1月1日現在の数値を集計中のため、確定したら最新のデータに差し替えを行う。
- ・提言2「外国人県民と行政間のコミュニケーション促進」の、オリエンテーションイメージの内容について、在留資格についての後に「等」を入れる。
- ・提言4「外国人親ひろば（仮称）設置」については、実例の参加状況の数字について、何年何月末時点と入れる。
- ・提言4について、外国人ひろばを作ることが、外国人だけで固まりたいという趣旨と捉えられないよう、記載について子育て・教育部会でもう一度検討する。検討した結果を、副委員長、部会長、副部会長がとりまとめ、事務局と調整し最終報告書を確定する。

(2) 報告書の副題

今回の最終報告書のサブタイトルについて、前回の会議で上がった候補のうち、「共に創る真の多文化共生社会をめざして」に決定した。

2 その他

- ・最終報告書の提出日や当日の進行などについて、詳細が決まり次第連絡する。
- ・あーすフェスタかながわ2019で、外国籍県民かながわ会議の委員でTogetherを踊る企画を出したい。参加できる人は、柳副委員長まで連絡をお願いしたい。

以上
(以上)